



令和5年度

太田小だより 11月号

【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校
 令和5年10月25日(水)発行
 全校児童数575人



住所 さいたま市岩槻区仲町1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



本物に触れる機会

校長 田波 巨士

10月に入り、朝夕の気温が下がり、日中も空気が清々しく感じるようになりました。秋晴れのよい気候が続き、勉強や運動に取り組みやすい時期となりました。

太田小学校では、2学期に入り、特にこの時期、各学年で社会科見学、遠足、その他校外での施設見学、講師を招聘しての講話等の体験的な学習が行われています。教室の中だけではなく、外に出て、また講師を呼んでの授業は、子どもたちにとって**本物に触れる良い機会**だと捉えています。

1年生は、岩槻城址公園で生活科の虫探しをしてきました。バッタやコオロギなどたくさんの虫を見つけたり、捕まえたりすることができました。

2年生は、岩槻図書館と岩槻人形博物館を訪問し、多くの人たちに公共図書館や人形博物館を便利に利用してほしいという思いや願いについて学びました。

3年生は、社会科見学で、鉄道博物館で実際に動いていた車両や活躍していた車両の模型を見学しました。また、ヨーロッパ野菜作りの農家さんからは、野菜作りにかかる苦労や情熱について学びました。

4年生は、社会科見学で、桜環境センター、ロッテ浦和工場を見学しました。桜環境センターでは、さいたま市のごみの処理・リサイクルの様子を学び、ロッテ浦和工場では、チョコレート菓子が原材料から製品になるまでの工程を見学することができました。

5年生は、社会科見学で、スキップシティで放送体験、武州中島紺屋で藍染め体験をしてきました。スキップシティでは、カメラマンやキャスターなどのそれぞれで役割を分担し、テレビ放送を行う体験をしてきました。また、映像の編集体験なども行ってきました。10/24(火)～26(木)で、「たかつえ自然の教室」に行ってきました。

そして、6年生は、10/18(水)、19(木)で、日光方面に修学旅行に行ってきました。

1日目、いろは坂を登っていくと、徐々に木々が色づき始め、けごんの滝や中禅寺湖辺りでは、鮮やかな赤や橙、黄色、茶色の葉が澄み切った空の青に映えていました。また、中禅寺湖面に水鏡で映る紅葉、滝の岩肌に大量に落ちる水がキラキラと反射している様子など、今の日光でしか見られない景色が広がっており、子どもたちはその美しさにも感嘆の声を上げていました。戦場ヶ原では、男体山を背にしながら、木漏れ日の中、自然を満喫しながらハイキングを行いました。6年生の子どもたちは、同じようにハイキングを楽しんでいる修学旅行と思われる小学生や一般の方、海外からの観光の方などに、すれ違う度に笑顔であいさつを交わしていました。



2日目は、竜頭の滝、中禅寺湖の遊覧船、日光東照宮を周りました。日光東照宮では、案内のガイドさんから、神厩舎の三猿(しんきゅうしゃ・さんざる)や陽明門等の社殿の彫刻の意味などについて、大変熱心に聞いていました。この修学旅行を通して、6年生がこれまで太田小学校で培ってきた精神や態度、学びに向かう姿勢、友達を思いやる心などを見ることができ、本当に感心しています。

「学問なき経験は、経験なき学問に勝る」ということわざがあります。学問だけあっても実際の経験を積まなければ大した役に立たない。実際に見たり聞いたり行ったりすれば、それによって知識・技能などが身につくという意味です。「百聞は一見にしかず」ということわざには、実際に自分の足で現地に出向き、自分の目で見て確かめることが大切であるという意味があります。校外での学習は、教室で勉強すること以上に貴重な体験ができる機会です。子どもたちには、自分の目で見て、耳で聞いて、手で触れて、においや温度などを感じて、考えて、学校に戻ったとき、学習や生活に役立ててほしいと願っています。

